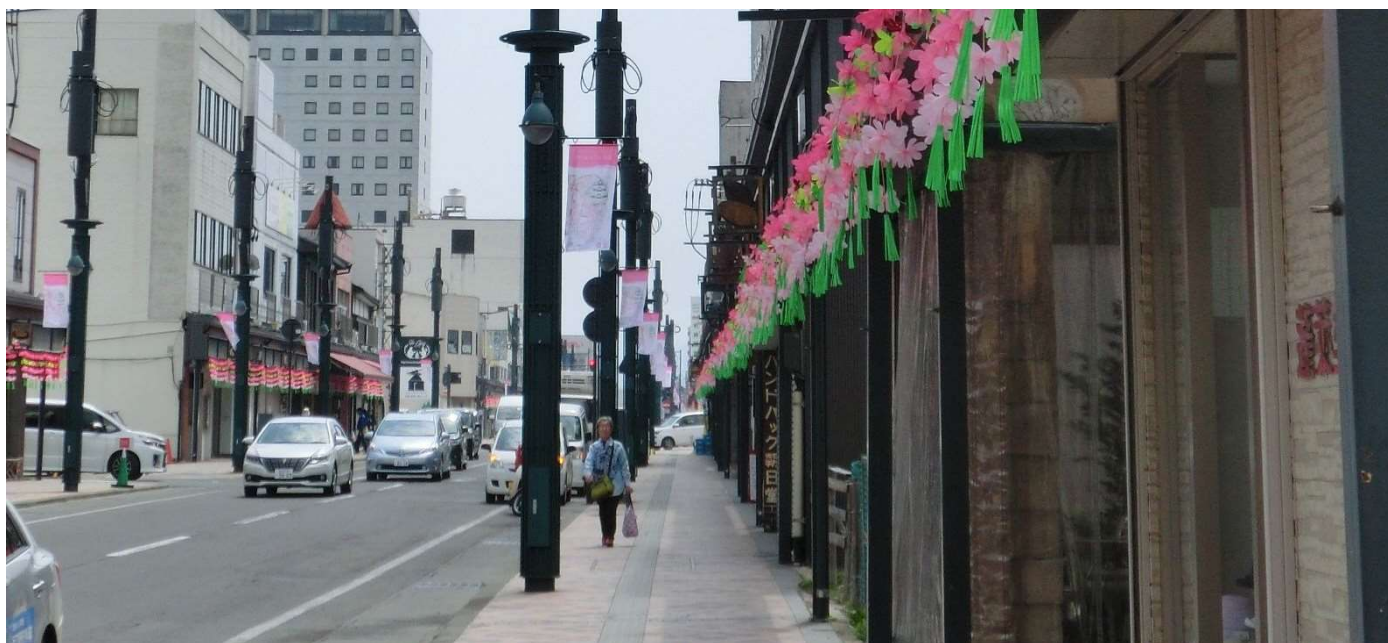


## 弘前まちなか散策街道

市民も観光客も歩きたくなるまちづくりが  
進められています！



▲「弘前まちなか散策街道」さくらまつりの期間、沿道のフラッグが春風に揺れて、来訪者を歓迎する。

青森県弘前市の「弘前まちなか散策街道」は、県道3号弘前岳鯨ヶ沢線や周辺の市道など、JR弘前駅から弘前公園を結ぶ市の中心市街地を通るルートです。

沿道には6カ所の商店街があり、藩政時代の城下町の町並み、明治時代の洋館や教会など、様々なまちの「顔」を楽しみながら散策できるルートとなっています。



▲ 春らしいデザインのフラッグ

弘前公園は日本三大桜名所の1つとして全国的に有名で、4月下旬～5月上旬の弘前さくらまつりの時期には、ルート上をフラッグにて装飾し、来訪者を歓迎する取組を行っています。



▲桜の名所「弘前公園」の花筏



▲ 2020年に開館した、新たなまちのシンボル「弘前れんが倉庫美術館」

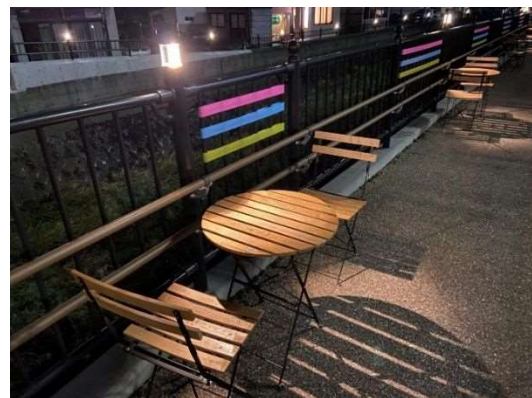
6カ所ある商店街では各自が個性あふれるまちづくりを進めており、従来のアーケードを撤去して庇を設置するもの、アーケードを活かして統一した看板を設置するもの、デザインしたマンホールを設置するもの、店舗をセットバックして得られたスペースにイスやテーブルを設置しテラス営業をする等、各自の工夫がみられます。

また、2020年にシールド工場をリノベーションした「弘前れんが倉庫美術館」が開館し、新たなまちのシンボルとして期待されています。

この「弘前れんが倉庫美術館」を拠点に令和4（2022）年9月17・18日に『ひろさき「まちなかピクニック」2022』が開催されました。

「まちなかピクニック」では、美術館前の広場を使ったイベントや、周辺の商店街・まちなかを回遊できるイベントなど20を超える催しを同時開催。

魅力的な飲食や物産の店舗が並ぶマルシェでは舌鼓をうち、デジタルスタンプを活用したまち歩きスタンプラリーや美術館から出発できるレンタサイクルでまちを巡り、遊歩道のオープンテラスで一休み。



▲ 「まちなかピクニック」オープンテラス



▲ ピクニック気分を楽しめるマルシェ



▲ ワークショップでの子ども達作品



▲ まちなか縁日

また、子ども達には、キックターゲットなどのアトラクション、段ボールを使った車づくりなどのワークショップ、まちなか縁日など楽しい催しもあります。



▲ ひろさき『まちなかピクニック』2022

弘前への来訪者の多くは JR 弘前駅から「弘前まちなか散策街道」を歩いて弘前公園等へ向かい、弘前のまち歩きを楽しみます。

「弘前まちなか散策街道」では、買い物だけではなく、さまざまな体験ができ、さらなる楽しみが味わえる商店街や魅力的な歩行空間づくりにより、居心地がよく、市民も観光客も、ふらっと歩きたくなる、散歩したくなるまちや道を目指しています。